



凡事徹底

内子中学校長 西本 晃

リーダーがこなす役割とは

部活動のリーダーが、3年生から2年生へ引き継がれて、もう半年、生徒会が引き継がれて、はや2か月が過ぎようとしています。

そこで、頼れるリーダーとなるために、どのような役割を果たす必要があるか、改めて考えてほしいと思います。

リーダーは、ただ単にみんなの代表でいるだけではいけません。メンバーが活動しやすい環境を整え、正しい方向に導くことが重要です。

リーダーがこなすべき役割の一例として、次の5つが考えられます。

- ①先頭に立って行動し、メンバーのお手本になる。
- ②目標を定め、チームや組織を正しい方向へ導く。
- ③メンバーがフルパワーを発揮できるよう環境を整える。
- ④いかなる状況でも周囲に声を掛けてやる気を高める。
- ⑤メンバーと密にコミュニケーションをとり、好ましい人間関係を築く。

内子中には、生徒会、委員会、部活動、学級活動等で、リーダーを任されている人がたくさんいます。時には、孤独になり寂しい思いをすることがあるかもしれませんが、一生懸命やり続ければ、必ずみんながリーダーの気持ちを理解し、付いてきてくれるはずです。過去最高の内中軍団を築くには、過去最高のリーダーが必要です。リーダーを中心に、革命を起こしましょう。

町を挙げて英語力アップに取り組んでいます

内子町では、町を挙げて、英語力向上に力を入れており、週3回程度、ALTの先生が来校し、英語科の教員とともに、授業を行っています。日頃から、英会話を聞き慣れた生徒は、それを生かして英語検定に挑戦し、中学校の3年間で、多くの生徒が3級以上を取得するなど、着実に成果も上がっています。また、1月に行われた検定にも1・2年生の多くの生徒が挑戦しており、意識が高まっています。大人になった時に、英語がしゃべれてよかったと思う日がきっとやってきます。生徒の皆さんには、更なる高みを目指して、頑張してほしいと思います。



拠点校部活動について

来年度から、内子町では拠点校部活動に取り組みます。完全実施が来年度の総体後になりますので、現2年生は対象にならず、現在の部活動を続けて行います。現1年生は、総体までは現在の部活動を続けますが、その後、他の部活動に替わりたいとの希望がある場合は、他の部活動を選択することができます。

また、新1年生については、4月からの実施になりますので、26日には、大瀬小と小田小、29日には五十崎小と天神小の6年生が、本校の部活動を見学に来て、入りたい部活動を決定します。そして、本校の部活動を選択した6年生は、4月から本校で拠点校部活動に取り組みます。

なお、本校が拠点校になるのは、軟式野球部、男女バスケットボール部、男女剣道部、男女ソフトテニス部、吹奏楽部、美術部(新規)、総合スポーツ部(新規：地域拠点)です。

サッカー部、女子ソフトボール部、女子バレーボール部、男女卓球部、総合文化・科学部(新規：地域拠点)は、五十崎中学校が拠点校になりますので、スクールバスで移動して活動するようになる予定です。

参考までに、現在の部員数は下記の通りです。

部活名	2年	1年	合計	部活名	2年	1年	合計
野球	4	5	9	女子バレー	6	4	10
サッカー	4	1	5	女子バスケ	7	2	9
男子バスケ	5	4	9	女子テニス	7	5	12
男子テニス	7	6	13	女子ソフト	5	3	8
男子剣道	2	3	5	女子剣道	0	4	4
生活情報	7	3	10	吹奏楽	9	7	16

運動部が団体戦に出場するために必要な人数

野球 9名 (選手登録 18名)

サッカー 11名 (選手登録 18名)

男女バスケ 5名 (選手登録 15名)

男女テニス 6名 (選手登録 8名)

男女剣道 5名 (選手登録 7名)

女子バレー 6名 (選手登録 12名)

女子ソフトボール 9名 (選手登録 18名)

※ 不利な条件にはなりますが、サッカーは7名以上、ソフトテニスは4名以上、剣道は3名以上いれば単独で試合に出ることが可能です。

※ 今年度の新人戦には、サッカー部が肱東中学校と、ソフトボール部が五十崎中学校との合同チームで参加し、2種目ともに県大会出場を果たすなどの、成果を上げていますが、拠点校部活動でも、同様な成果が期待できると思います。